



確かな学力の向上をめざして【4月】

どの子どもも「楽しく学校生活を送りたい」、「楽しく学習したい」、「勉強がわかるようになりたい」と思っています。児童生徒の充実した学校生活のために、教師が心がけなければならないことを再確認しましょう。

■教師の姿勢 4つのポイント

定期的に、自分の取組を「チェック」しよう！

1 児童生徒との信頼関係を築く

- 一人一人の表情に目を向け、その変化を捉えましょう。
- 一人一人に寄り添うために、教師から意図的に声をかけましょう。
- 話をするときは、「聞き上手」になりましょう。
- 日々、児童生徒に指導していることを自分ではできているか振り返りましょう。



2 責任感と緊張感を持って授業に臨む

- 児童生徒の実態を把握し、単元全体を見通しながら、どのような資質・能力の育成をめざすのかを明確にした授業づくりを進めましょう。
- 児童生徒相互で聞き合い、討論することができる授業を目指しましょう。
- 授業後や単元終了後に、資質・能力が育成できているか振り返り、授業改善につなげましょう。
- 校内で日々の授業を気軽に見せ合い、学び合いましょう。
- よい授業を見る機会を、自分から求めていきましょう。



3 組織としての対応を心がける

- 全職員で取り組むと決めたことを徹底しましょう。
- どんな小さなことでも、「報告・連絡・相談」しましょう。
 - ・情報を共有することで、一人の児童生徒を見る目が増えます
 - ・相談することで、より良い解決方法が見つかります
- メモをとる習慣を身につけましょう。（記憶より「記録」）



4 社会人としての自覚を常に持つ

- 状況に応じて、身なりを整えましょう。
- 相手の立場に立った対応を心がけましょう。
- 児童生徒にとって、よい大人のモデルになりましょう。
 - ・「丁寧な言葉使い」、「時間を守る」、「清潔な服装」等

